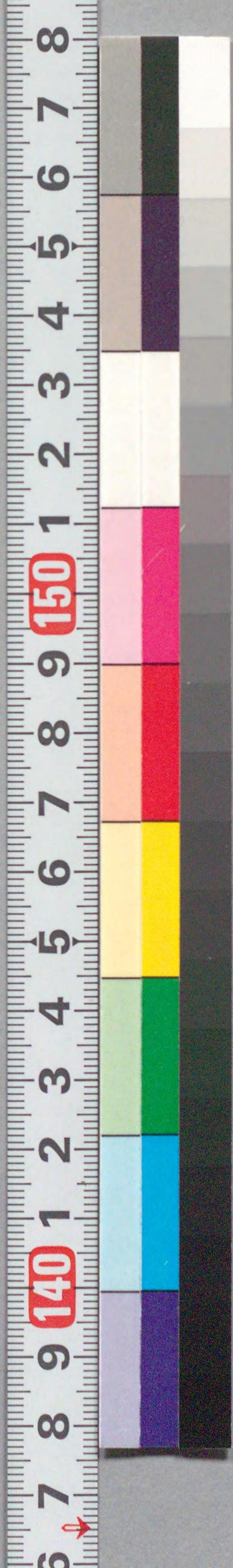


208
329

安永丸

鶯茶曾我
北全首我

芝全交初作
北全重慶画
合三冊



詩 序
 御愛度共謂御杯御春長雙六新
 板年改下略 直來乃終さし亦
 趣向新しき諸事物毎々して
 隨意氣此時重なり公時の仕物
 横す奇慶も力はく致止り



皆傳存様とありて野草の
の〜綾せりはきど調の味噌吸を
一杯呑け山のかんぐすとせりぬを
お〜んで盡三三通笑が家譜式と
から世の中を二冊三冊と洒落
あら〜作者乃金〜と
さとありし名ハ之笑櫻田より

も高く見負ハ三林秀隆と同
故子大の〜系人〜通作と
弄じおも〜と〜
〜と歎〜我をお〜
〜と黙〜
〜と〜
〜と〜
〜と〜
〜と〜

二











208
329

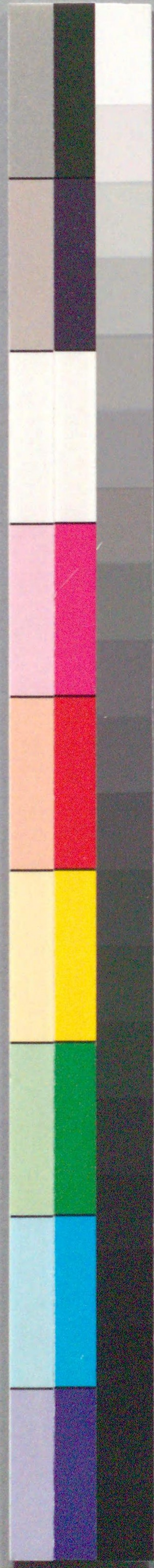
進物
新板物
名
法
法
法
法



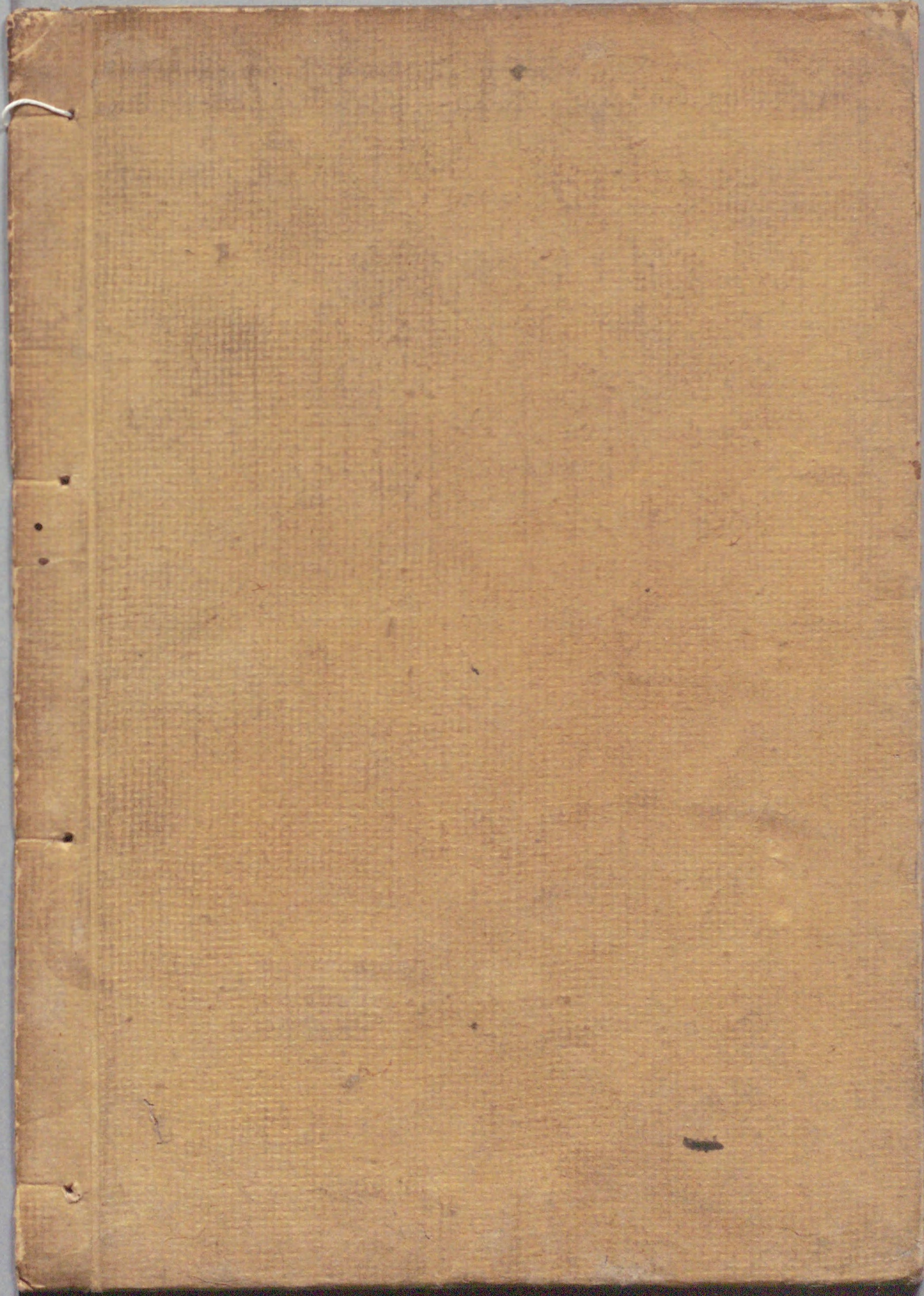
御目印のつる

か

画工北尾重政
作者芝全交
版元千鶴堂鶴屋



国立国会図書館 鴉茶曾我 3巻 208-329



ガラス使用

